

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(春)はレインボーラインが優勝

4月29日(祝・日)に行われた天皇賞(春)(G I)ではレインボーライン(牡5歳/栗東・浅見秀一厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。同馬のG I挑戦はこれが10度目で、G I初勝利までの挑戦数としてはカンパニーの13戦、キングヘイローの11戦に次ぐものとなります。

●幸英明騎手がJRA通算1300勝を達成

4月28日(土)の3回京都3日・第6レースではイエローマリンバが1着となり、同馬に騎乗した幸英明騎手(栗東・フリー)は、JRA史上21人目、現役では9人目となるJRA通算1300勝(1万8758戦目)を達成しました。

●重賞ウイナー4頭の競走馬登録抹消

2016年フラワーC(G III)の勝ち馬エンジェルフェイス(牝5歳/栗東・藤原英昭厩舎/JRA通算12戦3勝)、2013年金鯨賞(G II)の勝ち馬カレンミロティック(騾10歳/栗東・平田修厩舎/JRA通算41戦6勝・海外2戦0勝)、2017年京成杯オータムH(G III)の勝ち馬グランシルク(牡6歳/美浦・戸田博文厩舎/JRA通算24戦5勝)、2014年ニュージールランドT(G II)の勝ち馬ショウナンアチーブ(牡7歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算32戦3勝)は、5月3日(祝・木)までに競走馬登録を抹消されました。エンジェルフェイスは北海道新ひだか町のケイアイファームで繁殖馬、グランシルクは千葉県香取市の北総乗馬クラブ、ショウナンアチーブはJRA馬事公苑で乗馬となり、カレンミロティックも乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。

●スペシャルウィークが死亡

4月27日(金)、スペシャルウィーク(牡23歳)が死亡しました。1997年デビューの同馬は、1998年東京優駿(日本ダービー)を制し、1999年には天皇賞春秋制覇とジャパンカップ優勝を成し遂げるなどJRA通算17戦10勝の成績を残して2000年に引退。種牡馬としてはG I 6勝のブエナビスタなどを出し、種牡馬引退後は生まれ故郷である北海道日高町の日高大洋牧場に繋養されていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●かしわ記念(船橋)でゴールドドリームがG I・Jpn I 3勝目

かしわ記念(Jpn I、5月2日、船橋、1600m)は、5～6番手から追い上げた2番人気のゴールドドリーム(クリストフ・ルメール騎手、牡5歳、父ゴールドアリュール)が、残り50mで差し切り勝ち。逃げた6番人気のオールブラッシュが、1番人気のインカンテーションをアタマ差抑えて2着に粘り、3番人気のノンコノユメが4着、ベストウォーリアが5着、モーニンが6着と、JRA所属馬が上位を独占しています。

●テーオーエナジーが兵庫チャンピオンシップ(園田)を楽勝

兵庫チャンピオンシップ(Jpn II、3歳、5月3日、園田、1870m)は、4番手を進んだテーオーエナジー(岩田康誠騎手、牡、父カネヒキリ)が直線に入って間もなく抜け出し、単勝1.4倍の支持に応えました。逃げた2番人気のビッグスモーキーが5馬身差の2着に入り、3番人気のキャベンディッシュは3着、ワークアンドラブは4着、メイショウヒサカタは5着に敗れています。

●サクセスエナジーがかきつばた記念(名古屋)で重賞初制覇

かきつばた記念(Jpn III、4月30日、名古屋、1400m)は、2番手から3コーナーで先頭に立った2番人気のサクセスエナジー(松山弘平騎手、牡4歳、父キンシャサノキセキ)が、1番人気のキングズガードの追撃を $\frac{3}{4}$ 馬身差で凌ぎました。サンライズメジャーが3着、ローズプリンスダムは6着、コパノチャーリーは8着でした。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港チャンピオンズデー〜日本馬の優勝はならず

G 1クイーンエリザベスII世C(芝2000m)、G 1チェアマンズスプリントブライズ(芝1200m)、そしてG 1チャンピオンズマイル(芝1600m)と1日で3つのG 1をまとめて開催する「チャンピオンズデー」が4月29日に香港のシャティン競馬場で行われました。クイーンエリザベスII世Cには日本からアルアイン、ダンビュライトの2頭が出走しましたがそれぞれ5着、7着。3馬身差で勝利を手にしたのは昨年の2着馬パキスタンスター(騾5歳、父シャマダル、香港A.クルーズ厩舎)でした。そのほか、チェアマンズスプリントブライズは、ここが重賞初挑戦だったアイヴィクトリー(騾4歳、父モスマン、香港J.サイズ厩舎)が勝ち、日本のファインニードルは4着。チャンピオンズマイルは、昨年12月のG 1香港マイルの勝ち馬ビューティージェネレーション(騾5歳、父ロードトゥロック、香港J.ムーア厩舎)が逃げ切っています。

●仏G 1ガネー賞〜クラックスマンが今季初戦を快勝

4月29日の仏ロンシャン競馬場で行われたG 1ガネー賞(芝2100m)は昨年のG 1英チャンピオンSの勝ち馬クラックスマン(牡4歳、父フランケル、英J.ゴスデン厩舎)がL.デットーリ騎手を背に4馬身差で快勝。今季初戦を白星で飾りました。